

多忙化解消につなげる環境のデザイン

に関する基礎的研究

—ICT の活用を通して—

教育実践高度化専攻 学校マネジメントコース

井上 直人

1. 研究目的

本研究の目的は、教員の働き方を効率化する環境のデザインを通して、多忙化解消を目指すことである。主たる理由は、教員の多忙化を解消することで、「教育の質の向上」に繋がると考えるからである。

2. 研究の対象・方法

本研究では、著者の研究校の教員を研究対象者とし、アンケートを実施・分析した。研究方法は、「ICT を活用した授業支援と授業案の紹介」「書類等の簡素化とデータベース化」「教員向け PC 活用術マニュアルの作成・運用」の3点である。

3. 研究の成果・課題

本研究の主たる成果は、「ICT を使用した各授業の相談・支援が多忙化解消につながった点」「書類の見直しによるデータの簡素化・共有化が多忙化解消につながった点」「教員向け PC 活用術マニュアルの作成・普及が多忙化解消への一定の効果をもたらした点」の3点に整理される。

本研究の主たる課題は、教員の ICT 使用に対する意識や得意・不得意の実態等の差を埋めることである。